

□建物名称

# 御堂筋ダイビル

[旧東洋工業大阪支社ビル]



□建物概要

竣工：1964年（昭和39年）9月16日

工期：1962年8月～1964年8月

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造

規模：地上8階 地下3階 塔屋3階

延床面積：13,399.13㎡

用途：オフィスビル

設計：株式会社 竹中工務店

施工：株式会社 竹中工務店

受賞歴：第7回建築業協会賞／

「生きた建築ミュージアム・大阪セレクション」選定

□特徴

- ・自動車メーカーマツダ株式会社の前身東洋工業の大阪支社として建設され、現在は株式会社ダイビルのテナントビルである。
- ・ステンレスのメタリックな外壁と角丸の四角い窓が連続して並ぶ外観は、1960年代の人たちが近未来的と想像したであろうデザインで、陽光に輝く姿は現在も美しい。

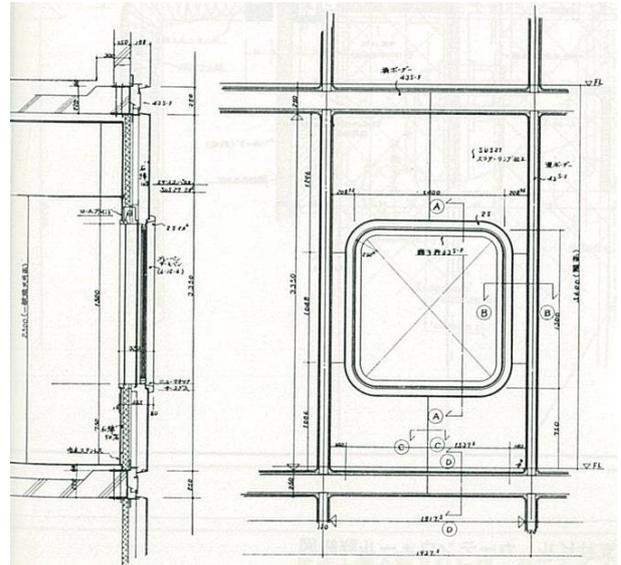
## □竣工当時の記事

- ・『建築と社会』1964(昭和39)年11月号の巻頭に、竣工当初の写真と記事が掲載されている。
- ・設計主旨の平面計画は、将来の收容人員や、間仕切の変化を考え、平面の基準単位割りを徹底させ、内外装やこれに付随したものすべてを一定単位に細胞化して、所要室の大きさがこの組み合わせによって、いつでもどこへでも簡単に配置換えできるよう計画された。



竣工時の外観

- ・立体計画は、普通のオフィスビルでは、地上制限高一杯で9階分とるところを、8階に遡減して一般事務室の床を二重床にし、どこにでも強弱電配線を取り出せるよう可動間仕切とあわせて融通性を第一としている。
- ・この建物の施工上の特色は、パネル式カーテンウォール工法である。  
高さ3,600m、幅1,937mのステンレスパネルに約1,500m角の隅丸の窓を組み込み、それを上下2本ずつのボルトで、左右、上下、前後に微調整のきくファスナーを介在させて各階のスラグの端に取りつけていくもので、簡単に作業できるように考えられた。



カーテンウォール断面図と外観